

平成 27 年度ダイオキシン類調査地点 (大気)



平成27年度ダイオキシン類環境調査の年間結果

調査地点及び調査結果

●大気

調査地点名	所在地	濃度 (pg-TEQ/m ³)					年平均値	環境基準
		春季 (H27.5.21 ～28)	夏季 (H27.7.15 ～22)	秋季 (H27.10.1 4～21)	冬季 (H28.1.7 ～14)			
さいたま市役所	浦和区常盤 6-4-4	0.022	0.029	0.019	0.067	0.034	0.60	
農業者トレーニングセンター	緑区大崎 3156-1	0.039	0.027	0.026	0.063	0.039		
大宮区役所	大宮区大門町 3-1	0.019	0.028	0.026	0.048	0.030		
膝子自治会館	見沼区膝子 623	0.028	0.053	0.029	0.052	0.041		
穂積コミュニティ会館	西区峰岸 13	0.019	0.034	0.042	0.051	0.037		
城南測定局	岩槻区笹久保 577	0.026	0.032	0.020	0.082	0.040		
平 均 値		0.026	0.034	0.027	0.061	0.037		

まとめ…平成27年度年間調査における大気中のダイオキシン類濃度は年平均0.030～0.041 pg-TEQ/m³でした。

(用語解説)

・ダイオキシン類 :ダイオキシン類対策特別措置法では次の3種をダイオキシン類とするとされています。

- ① ポリ塩化ジベンゾフラン
- ② ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン
- ③ コプラナーポリ塩化ビフェニル

・pg(ピコグラム):1ピコグラム=1兆分の1グラム

・TEQ :毒性等量。ダイオキシン類は種類ごとに毒性が異なるため、最も毒性の強いダイオキシンとされる 2,3,7,8-TCDD の毒性にその他のダイオキシン類の毒性を換算して評価します。

ダイオキシン調査地点 (H27 年度)

- …河川水および河川底質
- …河川水のみ
- …土壌
- ▲ …地下水



平成 27 年度ダイオキシン類環境調査(河川水・河川底質・土壌・地下水)結果の概要

● 河川水

河川名	調査地点	調査日	濃度 (pg-TEQ/L)	平均値(pg-TEQ/g)
油面川	鴨川合流点	H27. 7. 29	0. 025	0. 15
		H27. 10. 13	0. 37	
		H28. 1. 26	0. 049	
綾瀬川	啜橋	H27. 10. 13	0. 37	0. 32
		H28. 1. 26	0. 26	
綾瀬川	新簀子橋	H27. 10. 13	0. 53	0. 32
		H28. 1. 26	0. 10	
芝川	八丁橋	H27. 10. 13	0. 59	0. 52
		H28. 2. 9	0. 45	
鴨川	中土手橋	H27. 10. 13	0. 069	0. 12
		H28. 1. 26	0. 17	
鴨川	加茂川橋	H27. 10. 13	0. 15	0. 11
		H28. 1. 26	0. 070	
環境基準			年平均値: 1pg-TEQ/L 以下	

● 河川底質

河川名	調査地点名	調査日	濃度 (pg-TEQ/g)	環境基準
綾瀬川	啜橋	H27. 10. 13	8. 7	150pg-TEQ/ g 以下
	新簀子橋	H27. 10. 13	13	
芝川	八丁橋	H27. 10. 13	7. 9	
鴨川	中土手橋	H27. 10. 13	1. 2	
	加茂川橋	H27. 10. 13	7. 4	

● 土壌

調査場所	所在地	調査日	測定値 (pg-TEQ/g)
三橋総合公園	西区三橋	H27. 10. 26	1. 1
環境基準			1000pg-TEQ/ g 以下

● 地下水

所在地	調査日	測定値 (pg-TEQ/l)
見沼区島町	H27. 9. 25	0. 012
環境基準		1pg-TEQ/l以下

まとめ・・・調査を行っている全項目について、全調査地点で環境基準を満たしました。

(用語解説)

・ダイオキシン類：ダイオキシン類対策特別措置法では次3種をダイオキシン類とするとされています。

① ポリ塩化ジベンゾフラン

②ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン

③コプラナーポリ塩化ビフェニル

・ p g (ピコグラム) : 1ピコグラム=1兆分の1グラム

・ TEQ : 毒性等量。ダイオキシン類は種類ごとに毒性が異なるため、最も毒性の強いダイオキシンとされる2,3,7,8-TCDDの毒性にその他のダイオキシン類の毒性を換算して評価します。